

孤立を防ぐ地域づくり特別委員会の運営について

1 付議事件について

身近なつながりや支え合いにより社会的孤立を防ぐ地域づくりの推進に関すること

2 昨年の特別委員会における概略

(1) 調査・研究テーマ

現代の社会的孤立の背景について

(2) 調査・研究内容の概略

【総論】

- ・ 孤立は公助だけでは解決できない問題。解決には、自助・共助の役割も重要。
- ・ 人がつながる仕組みを幾重にもつくる。全ての人が社会的なネットワークにつながるような取り組みが必要。

【自治会町内会】

- ・ 地域コミュニティーを支えてきたのは、自治会町内会。今後も地域活動の中心になるため、活動を充実させていく必要あり。
- ・ 自治会町内会を含めさまざまなネットワークを再構築し、つながりを広げる必要あり。

【学校・教育】

- ・ 将来において、社会的つながりをつくっていけるよう、家庭の役割は重要。
- ・ 学校においても、子供の心の育ちを促す取り組みに力を入れ、地域づくりの視点で地域と連携した取り組みを進める必要あり。

【行政】

- ・ 住民自治を促進するためにも、区役所を中心とした新たな仕組みづくりが必要。
- ・ 個人情報取り扱いの対応等、地域活動での負担感を和らげるサポートも必要。

3 市会運営委員会での決定事項

○付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う

○委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする

4 平成25年度の調査・研究テーマ（案）

地域のつながりを支える取り組みについて